

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員10名に対して、指導訓練室が42.6㎡の他、ワークルーム等のスペースがあり基準を満たしており、療育等にも支障がない。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			一日平均利用者6名程度に対し、一日平均3名のスタッフを配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			平成29年10月にバリアフリー化された新築の建物へ移転した。全盲の方へのシンボルも設置し適切な構造となっている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			アセスメント・モニタリング・プランニングなど個別のニーズに沿ったアプローチを職員全員で実施している。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等向け評価票を活用し、保護者等の意向を把握すると共に、茶話会等で保護者様へフィードバックし業務改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果を法人のホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施できていない。佐賀中部地区放デイ連絡会にて検討を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修・内部研修を合わせ平成29年度は年間に21回の研修に職員が参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズの聞き取りや行動チェックシートを用いた特性の分析を行い、客観的に判断し作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	診断書や検査結果を保護者様から提出してもらっているが、全ての子どもの情報が整っているわけではない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常勤、非常勤を含めて、ミーティング等にて意見交換を行っている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			年間計画・月の予定を作成し、クッキング・工作・お出かけなどの内容を工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日・長期休暇その時々課題を設定し個別に対応できている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	子どもの特性に合わせて個別活動を中心に計画を立てており、状況に応じて複数での活動も取り入れているが、集団活動について計画に記載はしていない。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			基本的に実施しており、シートやボードを用いて可視化された情報を基に支援内容や役割分担を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			○	基本的に実施しているが、実施できていないときがあるので、その際は、ミーティングにて確認を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は必ず取っているが、スタッフにより視点のズレが生じることがあるため、統一できるよう改善を行う。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々のモニタリングの他に、個別の支援検討会議を開催し、計画の見直しを実施している。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			子どもの発達段階に応じて、基本活動の内容を実施している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や担当者が参加し情報提供や情報共有を行っている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		支援会議の開催や参加を行い、情報共有に努めている。また、メールでの下校時刻等の共有も行っている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当する子供がない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		利用前には必ず保護者様との面談を行うと共に、学校やその他関係機関と情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		支援会議への参加や情報シートの提供、利用後における相談等に対応している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関より訪問いただき助言を受けている。また、専門機関からの研修を計画し、実施している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○	障害特性上、聴覚過敏等により子どもを苦手とする方が多く実施ができていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		佐賀中部地区放デイ連絡会に加盟し、情報共有や発信をしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳・送迎時・定期や不定期の面談にて情報共有を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		面談を設定して困りごと等を確認し、関わり方や環境設定の助言やツールの提供と使用方法の説明など保護者に応じた支援を行っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や定期面談時に説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談できる時間を設定しており、状況や状態に応じた助言や支援を行っている。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		茶話会を実施し、保護者様同士の連携支援を行っている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決の体制を整備しており、契約時に周知している。苦情の際は、記録を残し、改善策も検討する。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人の会報を毎月発行している。事業単位でも案内を配布している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報等の取扱いに十分注意しており、ファイリングや保管場所などを決め、チェックもできている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		説明をする際には、実物を見せるなど、わかりやすく伝達する工夫をしている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人全体で企画し、地域の方や利用関係者が参加できるイベントを開催している。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルはあるが保護者様に対して全てを周知できていなかった。契約時や定期面談等で周知徹底していく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○		年2回、避難訓練・消火訓練を実施しており、契約時にも説明をしている。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止体制を整備しており、毎年、虐待防止研修を開催している。

④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時や面談時に説明している。対象者がいないため計画への記載はない。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書については保護者を介してもらって対応している。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハット記録は整備できている。記録量が少ないため、今後、改善・共有していく。